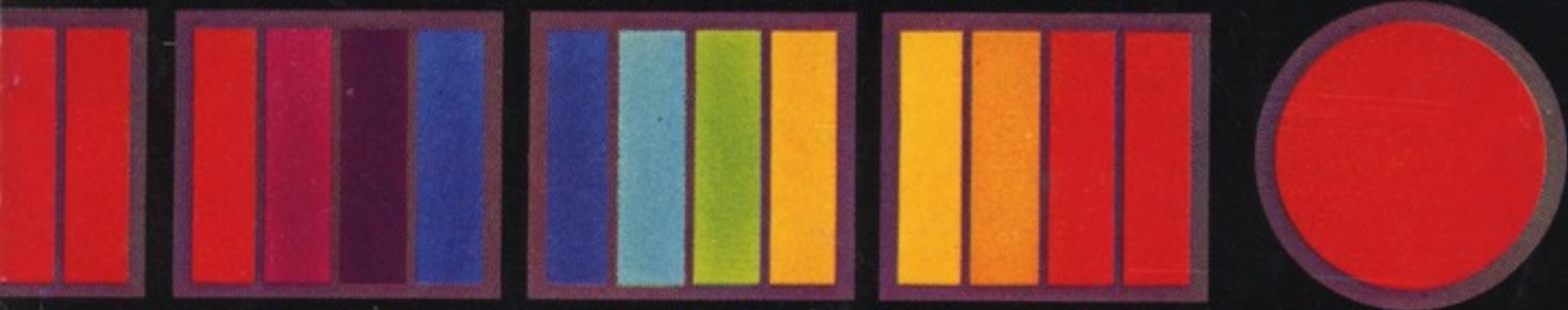


 **PETRI**



ペトリカラー35  の使い方

おもな性能

型式／レンズシャッター式露出計連動35ミリフルサイズカメラ

使用フィルム／パトローネ入り35ミリフィルム、20枚または36枚撮り

画面サイズ／24×36ミリ 35ミリフルサイズ
レンズ／ベトリ40ミリF2.8 3群4枚構成
コンビネーションコーティング

シャッター／ベトリMS (#000) B・15・30・60・125・300 絞f2.8~22 シャッター速度調節ダイヤル・絞調節ダイヤルともにカメラ上部にあり ケーブルリリース使用可能

焦点調節／目測式ゾーンフォーカス 直進ヘリコイド ファインダー内に距離目盛あり
カメラ背面の距離調節ダイヤルと連動 最短撮影距離1メートル(3.3フィート)

ファインダー／ブライツフレーム 0.45×
距離目盛・露出計指針あり 視差補正標付

露出計／CdSタイプ レンズ部上部に受光窓
ファインダー内指針による定点合致式 シャッターダイヤルおよび絞りダイヤルに連動 連動範囲EV 7-17 ASA目盛25~800
DIN15~30 使用水銀電池 東芝 TH-KC
ナショナル M-1 C またはマロリー RM675 R 1.3V

フラッシュ／X接点 アクセサリーシュー中央にコードレス・シンクロ接点 他にJIS B型シンクロターミナルあり

フィルム装てん／シンプルロード・システム
フィルム巻上げ／カメラ背面にあるレバー式一作動巻上げ
フィルム枚数計自動復元
フィルム巻戻し／カメラ上部のクランクによる

フィルター径／ネジ込式40.5ミリ フード専用45ミリかぶせ式

寸法・重量／101×64.9×43.5ミリ390グラム

ベトリカラー35D ¥19,800 ケース¥1,600

ブラック ¥20,800 ケース¥1,600

お買上げありがとうございます

このペトリカラー35Dは、コンパクトカメラのパイオニア、ペトリが創りあげた世界最小の35ミリフルサイズカメラです。性能は一段と充実、35ミリの高性能をすべて備えていますので、本格的な撮影がお楽しみいただけます。本機は数々の新機構を採用しており、従来のカメラと使い方を異にしますので、本書をよくお読みになり、早く自分のモノになさってください。

5. 距離調節ダイヤルを回し、
6. ファインダー内の距離目盛に目測した距離を合わせます。
7. レリーズボタン（シャッター）を押します。
8. それだけで美しい写真が写せます。



各部の名称



吊り環

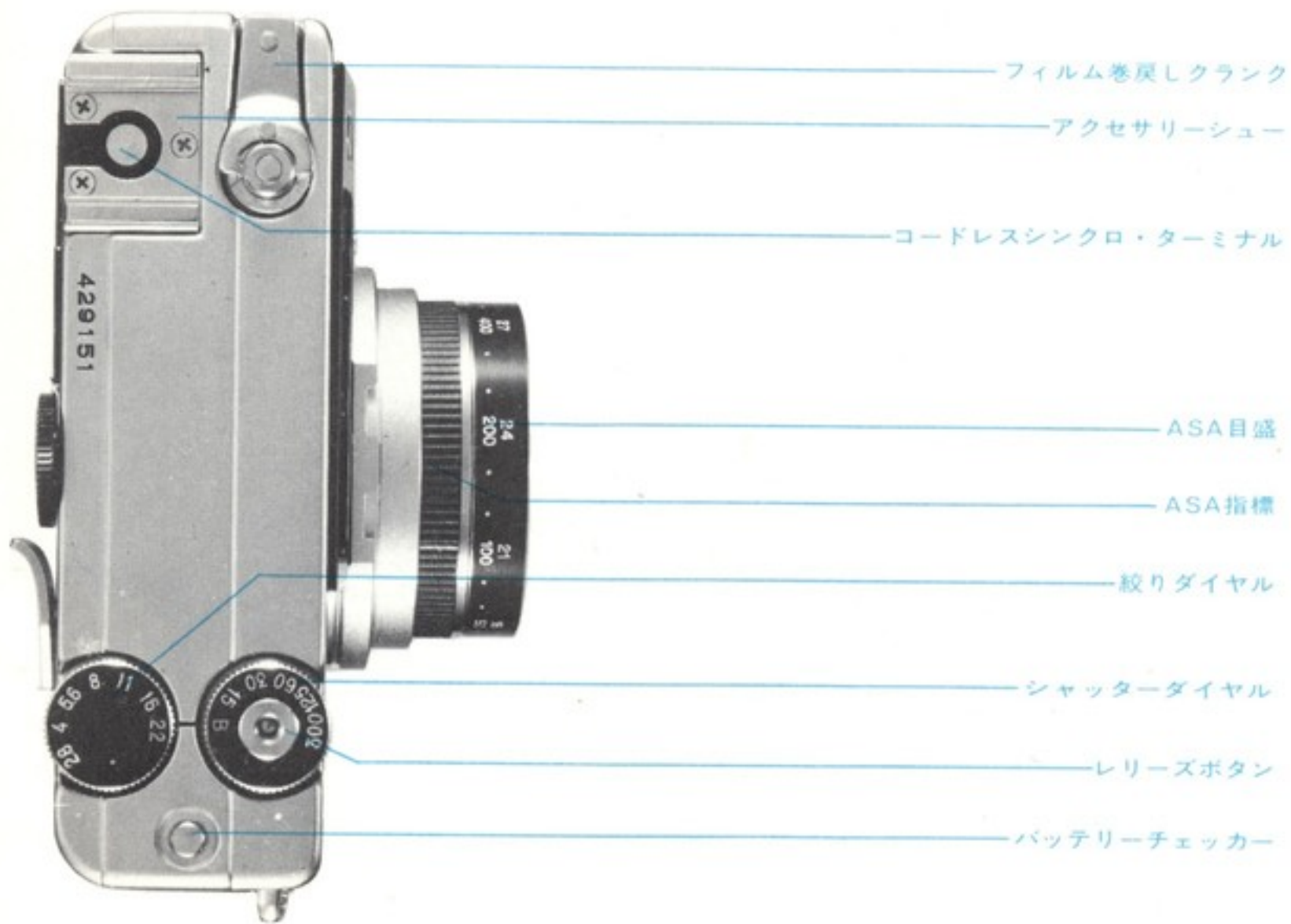
ファインダー明りとり窓

連動CdS露出計受光窓

ベトリ40ミリF2.8レンズ

ファインダー窓

シンクロターミナル



フィルム巻上げレバー

距離調節ダイヤル

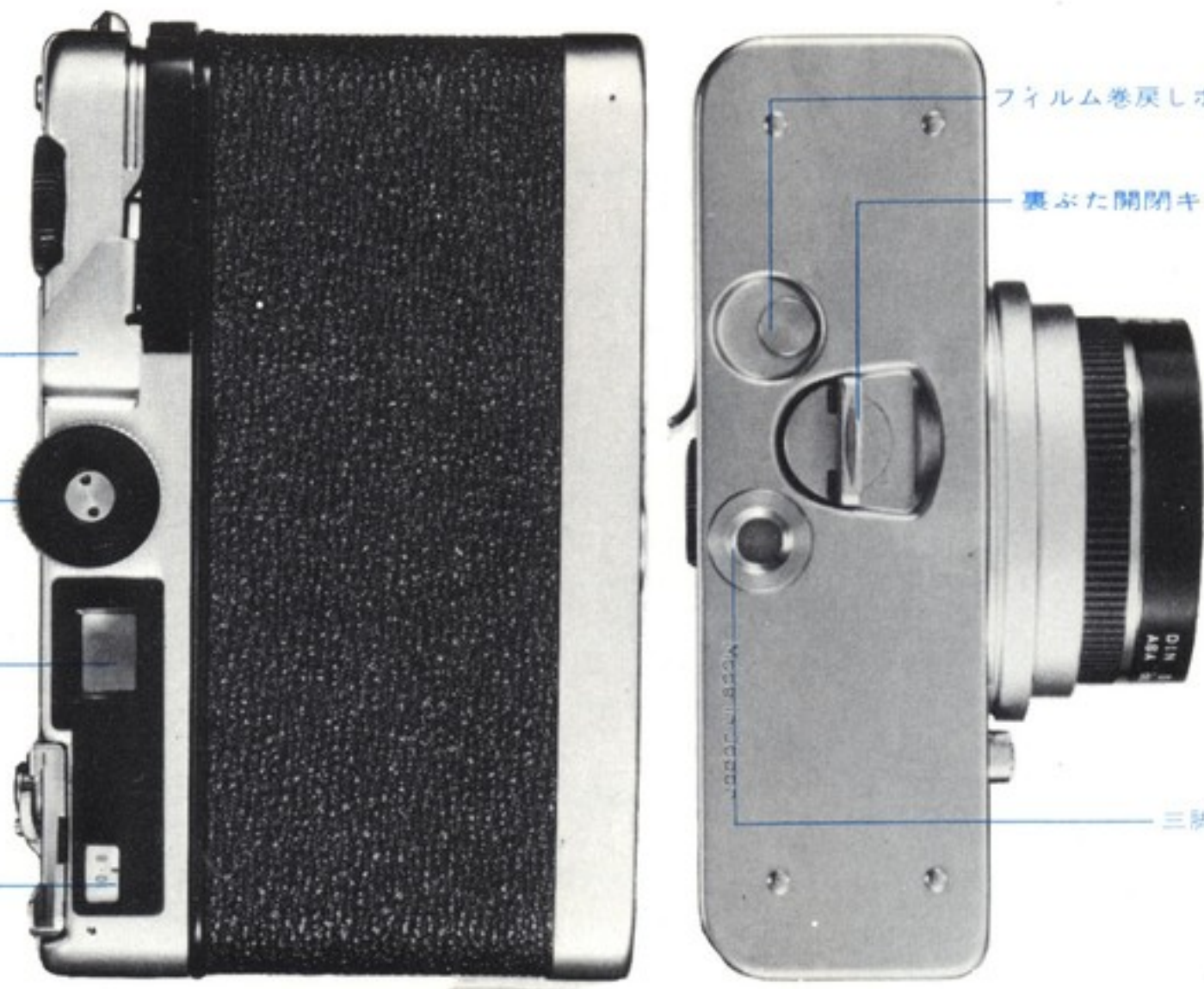
ファインダー覗き窓

フィルム枚数計

フィルム巻戻しボタン

裏ぶた開閉キー

三脚孔



フィルム巻取軸

フィルムガイドレール

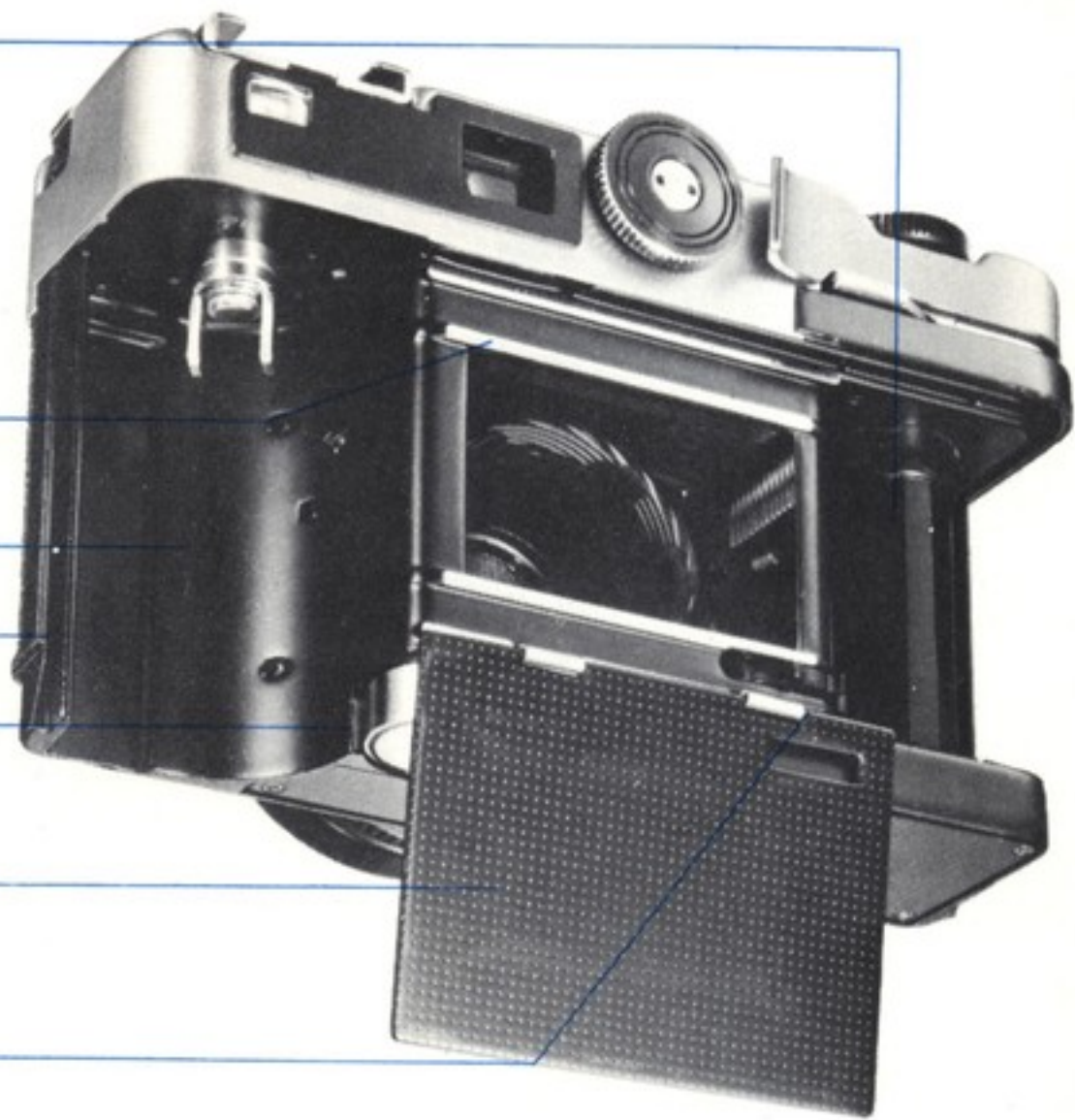
フィルム室

裏ふた取付けレール

水銀電池格納室

プレッシャープレート

スプロケット



水銀電池を入れます

水銀電池が入っていないと、露出計は作動しません。裏ふたを外し、水銀電池格納室のふたを10円硬貨などで時計方向と逆に回してはずし、付属の水銀電池を+側を上（ふた側）にしてお入れ下さい。



バッテリーチェッカー

水銀電池の寿命はバッテリーチェッカーによって調べられます。

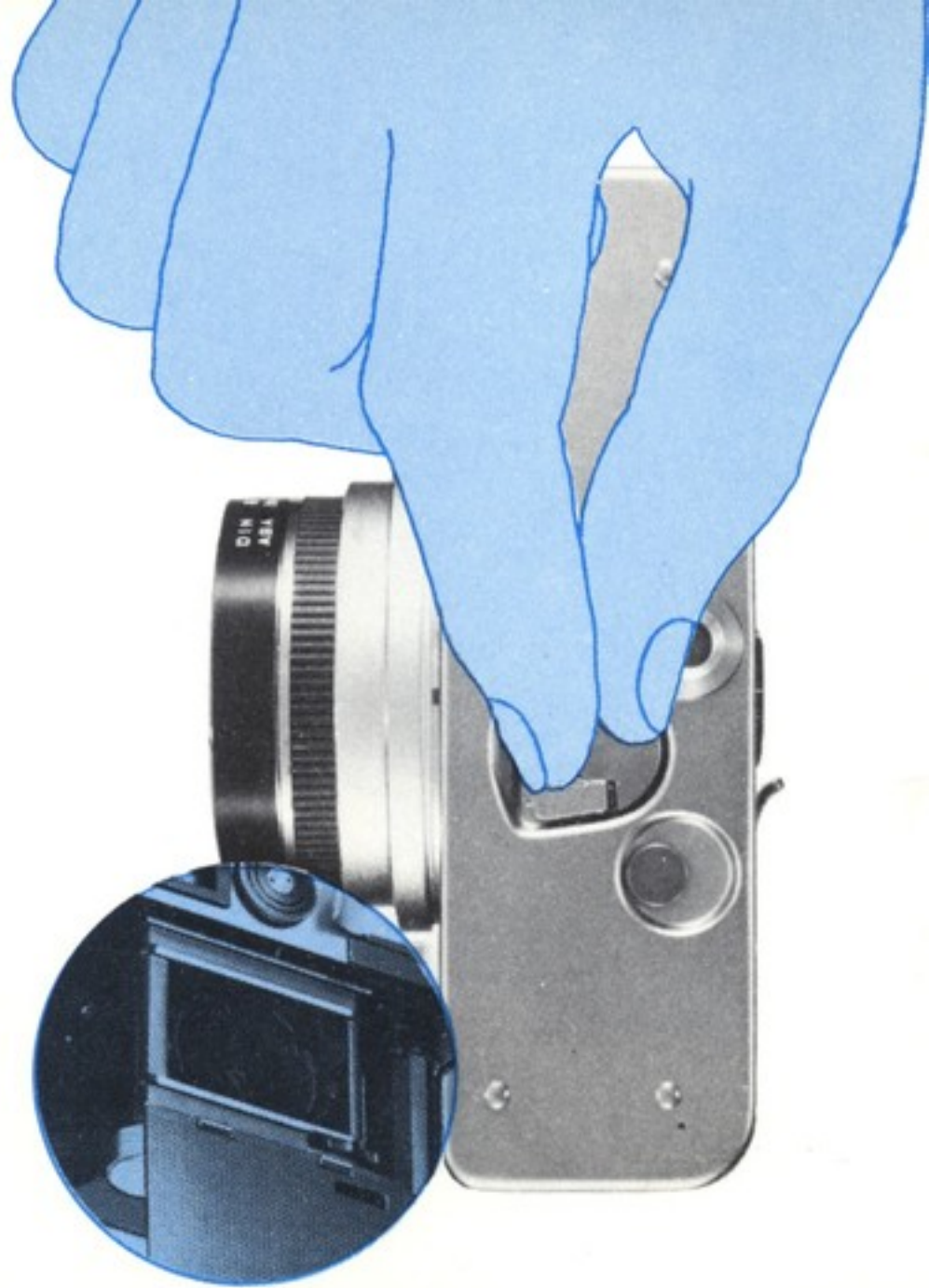
シャッターダイヤルをB、絞りを22、ともに赤字を指標に合わせ、ファインダーをのぞきながらバッテリーチェッカーを押します。このときファインダー内の露出計指針が赤丸中央より上にふれば、電池は健在であり、針が動かなければ消耗していますので、新品と交換します。(東芝TH-KC、ナショナルM-1C、マロリーRM675R)、なお、電池の有無は、フィルムを装てんする前に確認してください。



裏ぶたの外し方

カメラ底部にある裏ぶた開閉キイを起して回し、ボディの両端を押え、下方にずらすと裏ぶたは簡単に外れます。フィルムを入れるには、プレッシャープレートに指をかけ、下に開きます。

閉じる際は、ボディの端からスライドさせると閉めにくくなりますので、中間から溝に合わせスライドさせます。ボディとピッタリ合ったら開閉キイを元に戻します。



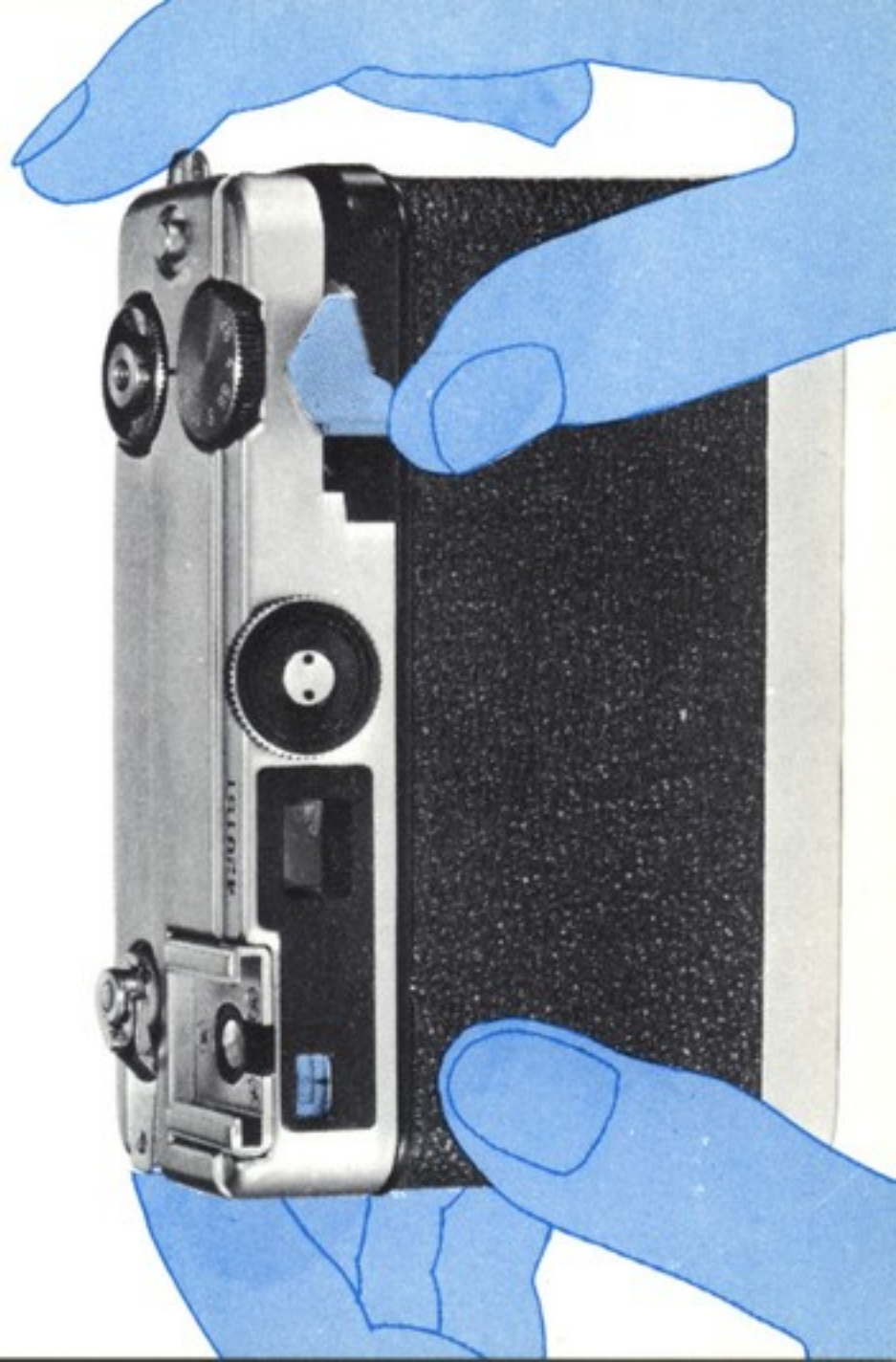
フィルム巻上げレバー

フィルム巻上げレバーに親指をかけ、レバーが止まるまで回すと

1. 水銀電池のスイッチが入り
 2. フィルムが1コマ分送られ
 3. フィルム枚数計が1目盛だけ送られ
 4. シャッターが同時にセットされます
- フィルムが巻上げられていないと露出計は作動しません。

フィルム枚数計の数字は、撮影枚数を表わします。目盛は1の他は偶数表示になっており、中間の黒点は奇数枚数を示します。20と36の赤字は、20枚撮り、36枚撮りフィルムの撮影終了を意味します。

この枚数計は自動復元式ですので、裏ぶたを外すと自動的にSに戻ります。

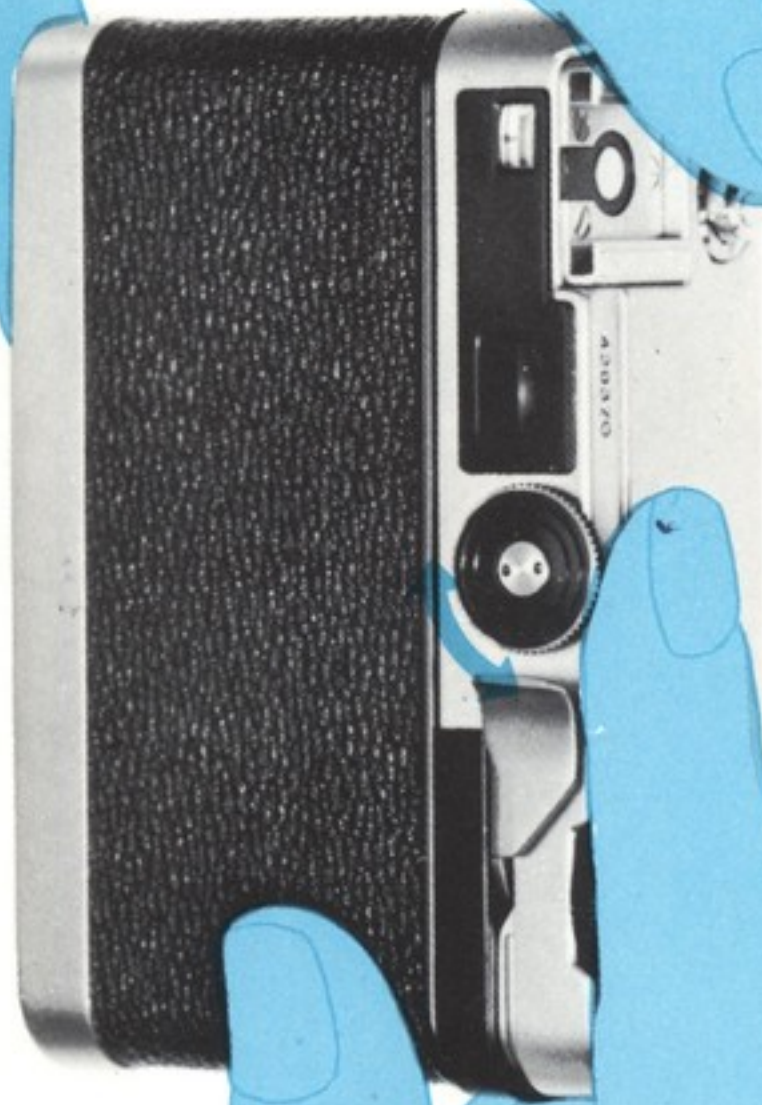


距離調節ダイヤル

本機は撮影時以外は、レンズがボディ内に格納されます。

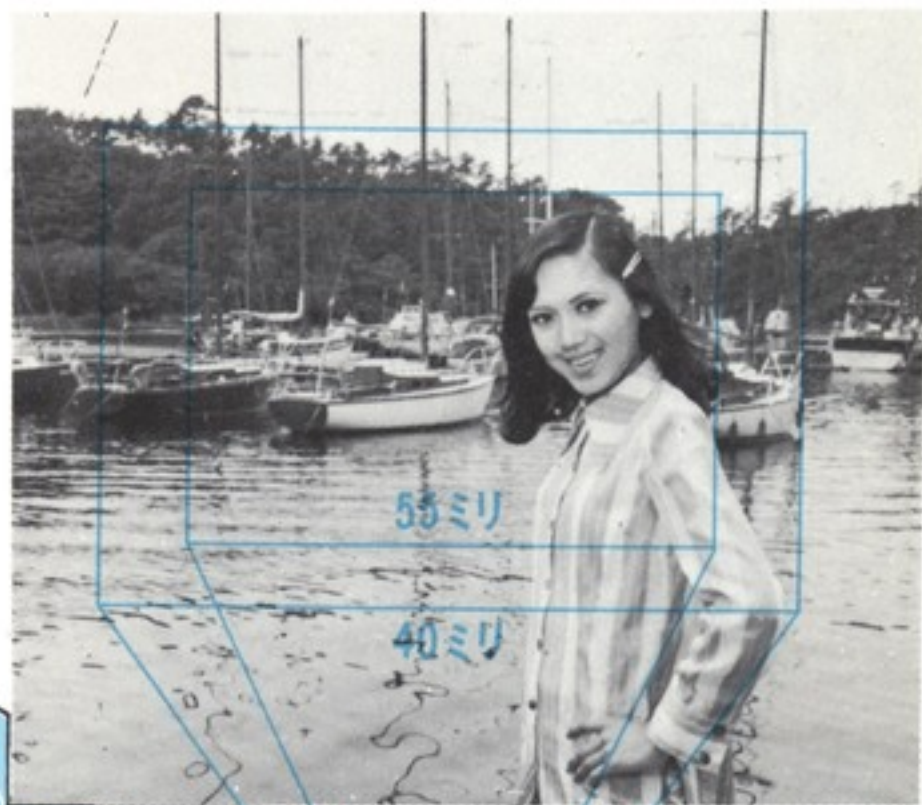
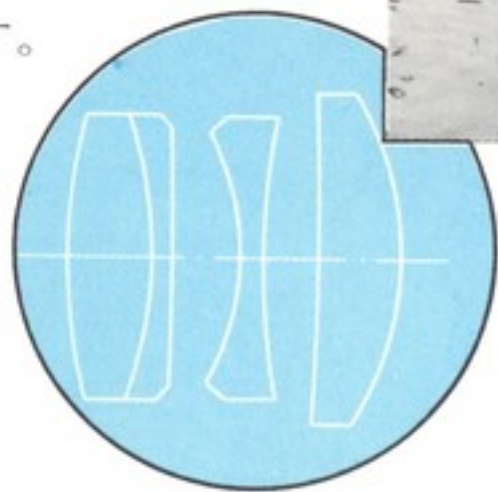
撮影の場合は、ボディ背面の距離調節ダイヤルを回し、レンズをくり出します。約3回転すると距離目盛の無限遠の位置になり、クリック（手ごたえがある）が入ります。

レンズ格納時には、シャッターに安全ロックがかかり、不用意にレリーズボタンを押してもシャッターは切れません。



40ミリF2.8レンズ

このレンズは、35ミリでは準広角レンズに属し、被写界深度が深いのが特徴です。従って、開放絞り（ $f:2.8$ ）で撮影をしても、多少の目測誤差は深度内に入り充分観賞にたえる、ピントのよい描写力を示します。また、このレンズは写る範囲が広いので、狭い室内やスナップ撮影に有利といえます。

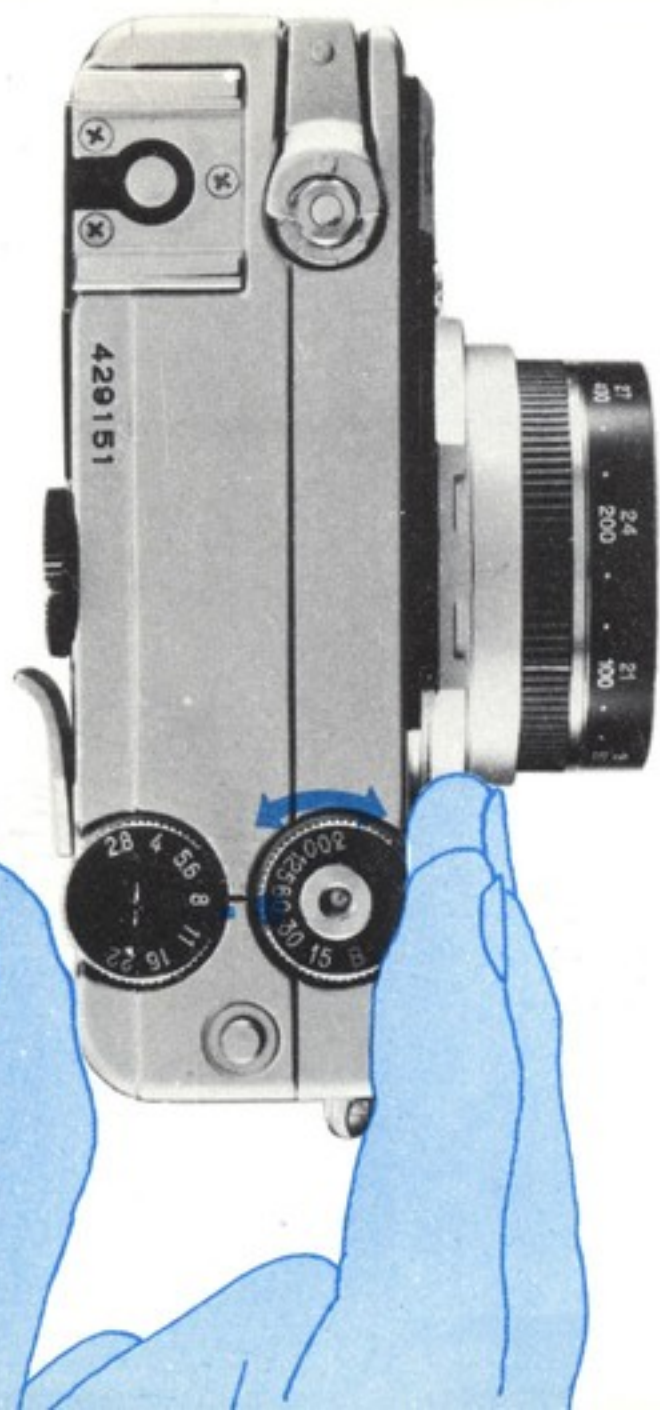


シャッターダイヤル

シャッターダイヤルには、B、15、30などの数字が刻まれています。Bはバルブといい、レリーズボタンを押しているあいだシャッターの羽根が開き、放すと閉じます。15は $\frac{1}{15}$ 秒、30は $\frac{1}{30}$ 秒の意味です。

シャッター速度のセットは、ダイヤルを右または左に回し、必ず指針の所で止った状態でお使いください。数字と数字の間は使えません。また、Bと30の間は移動しません。

シャッター速度のセットは、フィルム巻上げの前後いずれでも構いません。

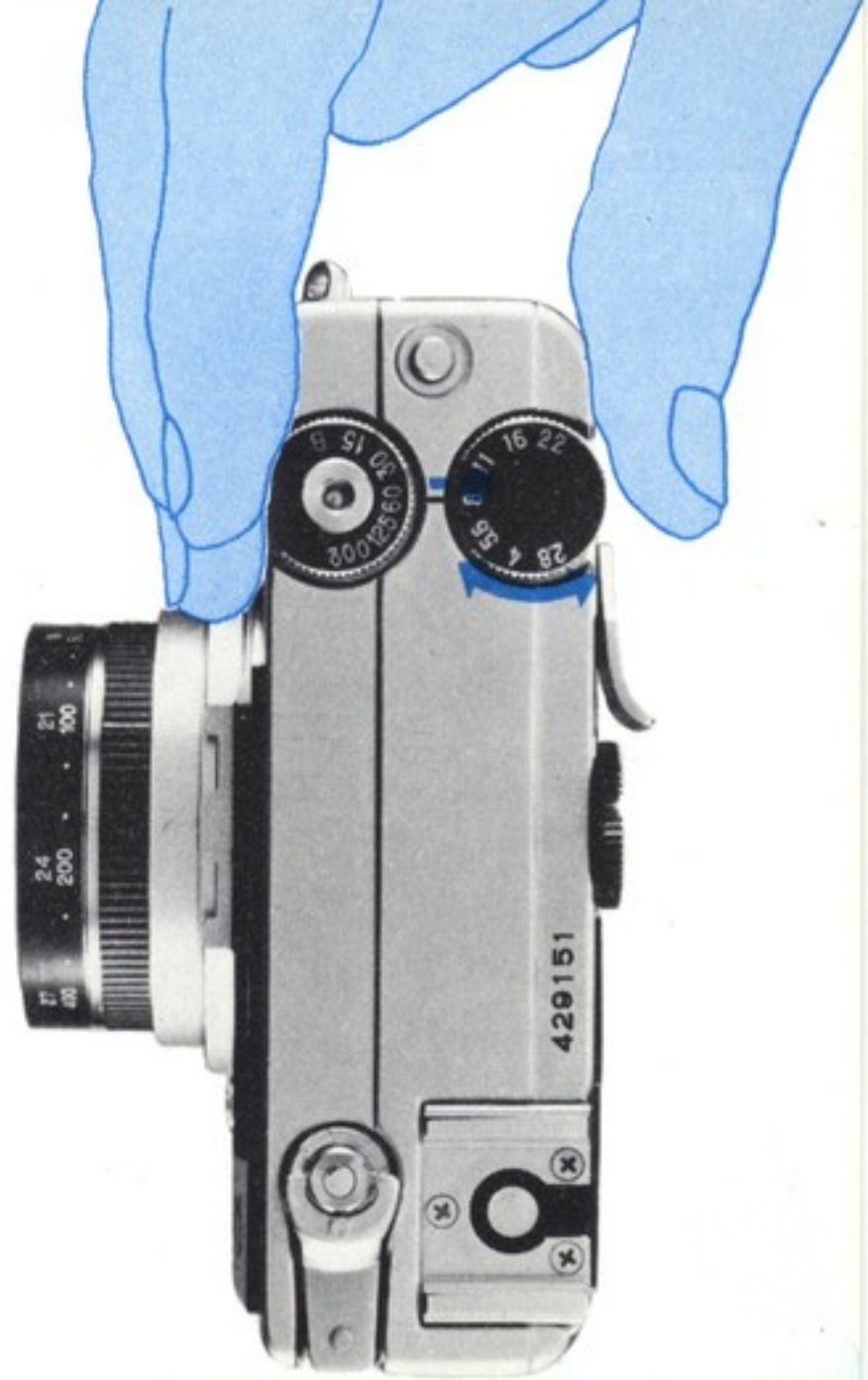


絞りダイヤル

本機の絞り目盛は、カメラ上部に独立して設けられています。

このダイヤル上の数字が大きくなる程絞りの開き方は小さくなります。すなわち2.8が開放絞り、22が最小絞りです。

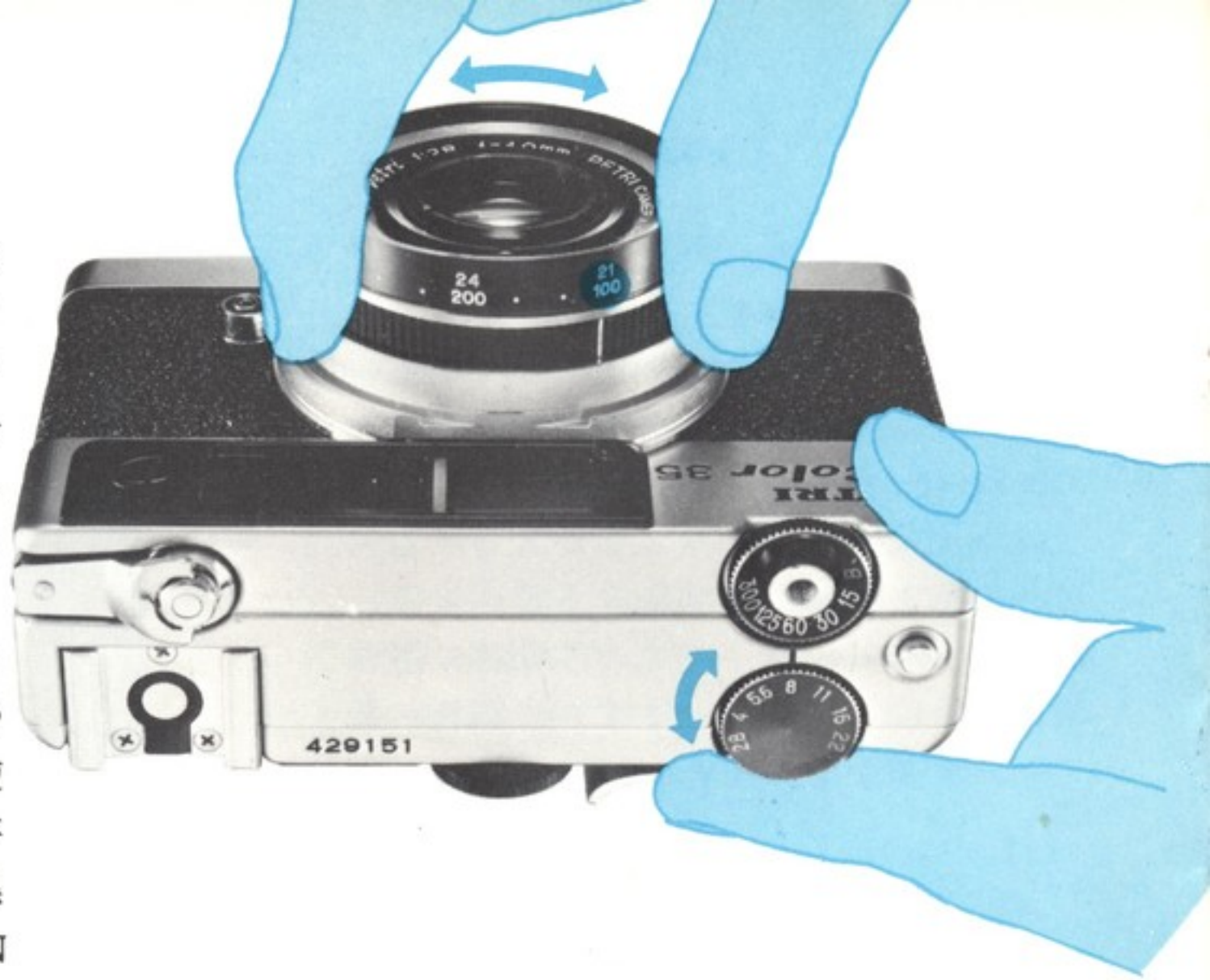
絞りダイヤルはクリックが入っておらず、数字と数字の間絞りも使えます。操作は、シャッターダイヤル同様、右または左に回して合わせますが、親指の腹で回すとやりやすくなっています。



露出の決め方

フィルムを装てんしたら、あらかじめそのフィルムのASA感度とカメラのASA目盛を合わせておきます。これが違っていると露出計は正しく動きません。

レンズをいっぱいにくり出し、黒いギザギザのあるリングを動かし、使用フィルムのASA数字に白線を合わせます。黒字がASA、赤字がDINを示します。



露出決定の順序は、まず、被写体の条件によって、適当なシャッター速度をセットします。次にファインダーをのぞきながら絞りダイヤルを回し、ファインダー内右横の赤丸の中央に露出計指針を合わせれば、それだけで適正露出が得られます。(図参照)

- 先に絞りを決め、シャッターダイヤルで露出を調節することもできます。
- 正確に露出を合わせると、絞り目盛は絞り指針と合わず、数字の中間で止まる場合がありますが、差し支えありません。それが正しい露出です。



カラーと光源

- 光源に対しレンズの方向が30度までは通常のままに写せますが、それ以上近付いた場合は、乱反射を起す恐れがありますのでフードをお使いください。



順光 カメラの背後に光源があり、一番美しい色が出せますが、立体感に乏しいきらいがあります。



半逆光 被写体の斜めうしろに光源があり、ハイライトがつき、立体感のあるカラーが撮れます。



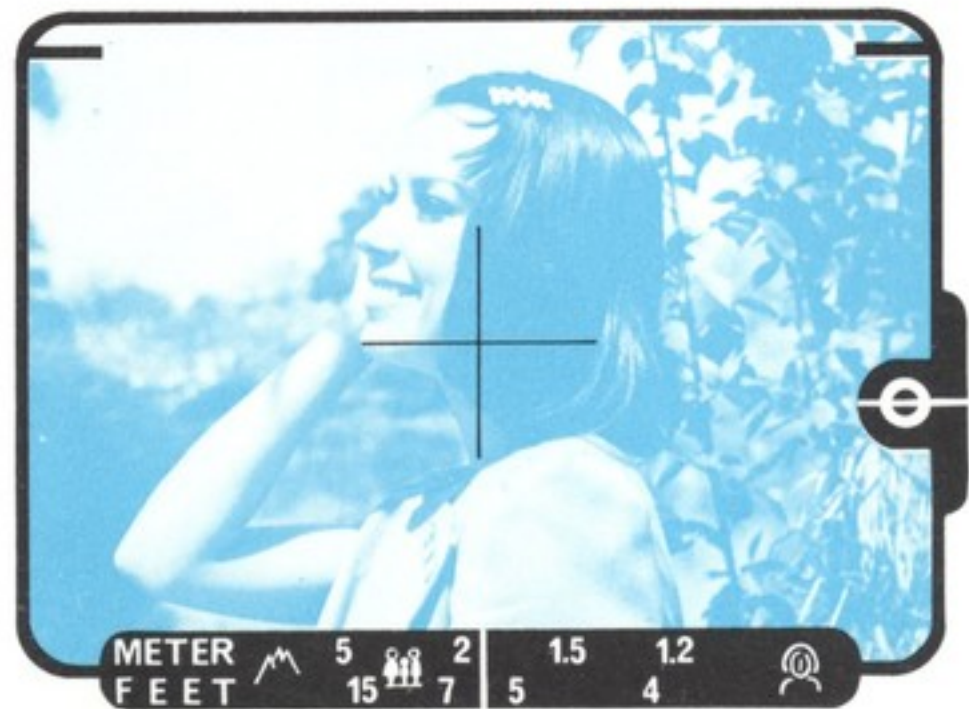
逆光 被写体の直後に光源があり、被写体はシルエットになりますが、絞りを一段開けると防げます。

ピント調節

距離（ピント）の決定は目測によります。距離調節ダイヤルを回し、ファインダー内の、メートル、フィート又はゾーンフォーカスの絵マークに、距離指針を合わせます。

ゾーンフォーカスマークの半身像は1メートル、グループは3メートル、山のマークは無限遠です。通常の撮影は、このゾーンフォーカスで行なえますが、その場合は、なるべく小絞りをお使いください。

ファインダー内の右横に露出計指針、下部に距離計指針、又中心に十字がレイアウトされ距離露出もファインダーをのぞくだけで調整できます。



被写界深度表

40mm F2.8レンズ

S(m) ^{FNO}	2.8	4	5.6	8	11	16	22
1.0	0.94 1.06	0.92 1.09	0.89 1.14	0.85 1.21	0.81 1.31	0.74 1.52	0.68 1.90
1.2	1.12 1.29	1.09 1.34	1.05 1.40	0.99 1.51	0.93 1.68	0.85 2.05	0.76 2.80
1.5	1.37 1.65	1.33 1.73	1.27 1.84	1.19 2.03	1.10 2.34	0.98 3.14	0.87 5.34
2.0	1.78 2.28	1.70 2.43	1.61 2.65	1.48 3.08	1.35 3.87	1.18 6.71	1.02 57.46
3.0	2.53 3.68	2.37 4.08	2.19 4.77	1.96 6.38	1.74 11.06	1.46 ∞	1.22 ∞
5.0	3.81 7.26	3.46 8.99	3.08 13.22	2.65 44.72	2.25 ∞	1.80 ∞	1.45 ∞
∞	15.96 ∞	11.17 ∞	7.98 ∞	5.58 ∞	4.06 ∞	2.79 ∞	2.03 ∞

構図の決め方

ファインダーをのぞくと、撮影枠（ブライトフレーム）があり、この枠の中に写そうと思うものをきっちりおさめるようにします。

近距離撮影のときは、ブライトフレーム上部内側の左右にある短い線（視差補正標）より下に、被写体を入れるようにします。これはパララックス（実画面とファインダーに見える範囲の差）が生じるための処置です。



カメラの構え方

カメラの背面をピッタリ頬に押しつけるようにして、ファインダーをのぞき、カメラブレを起さないようにします。



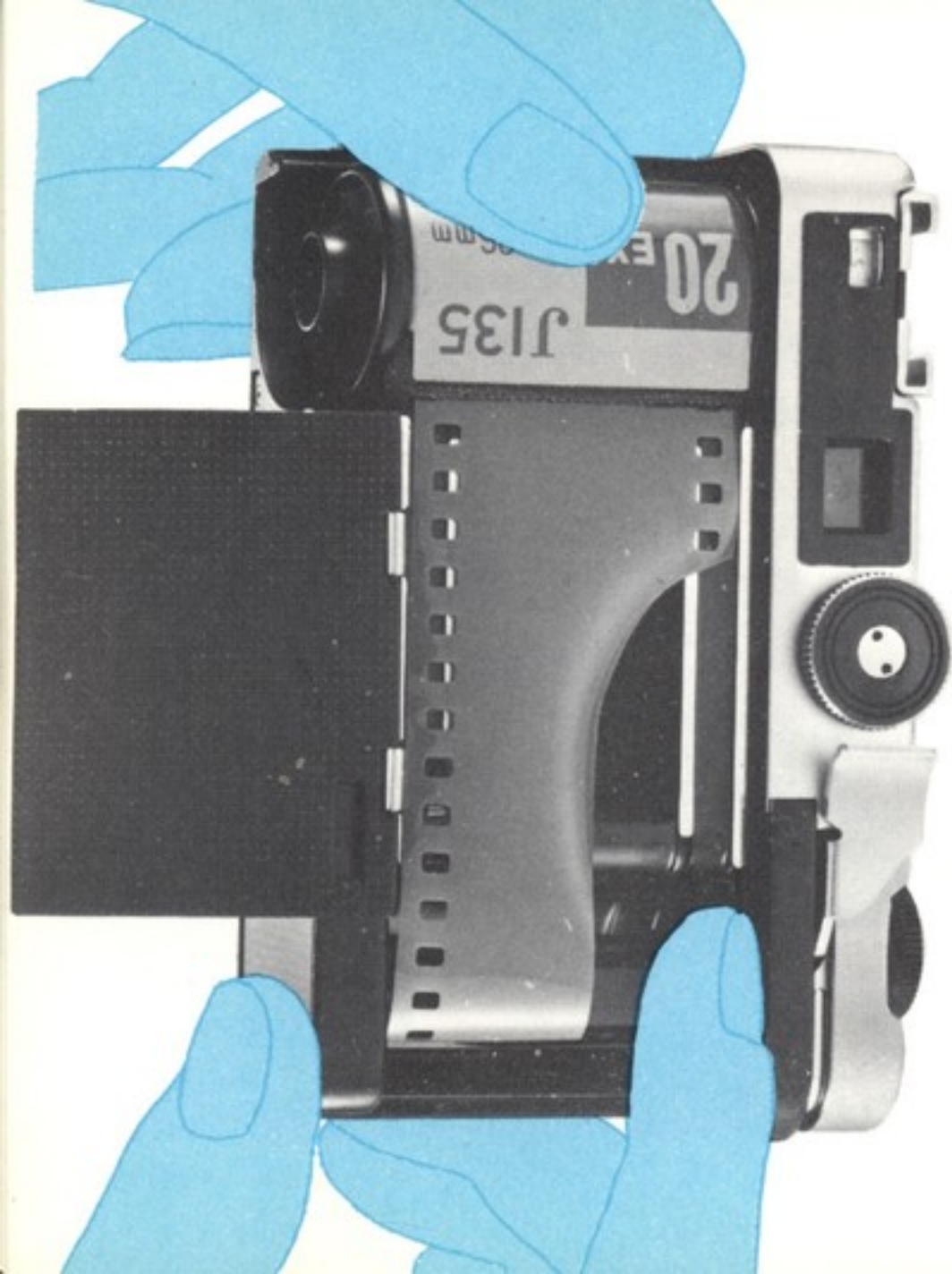
カメラを額に押しつけてファインダーをのぞきます。シャッターは、指の腹で静かに押します。



フィルムの入れ方

フィルムの出し入れは直射日光を避けて行ないます。

フィルムを入れるには、①裏ぶたを外し、プレッシャープレートを開き、②パトローネをフィルム室に入れ、③フィルムの先端を、フィルム巻取軸の溝（4カ所あるそのどれにでも）に差しこみ、そのままカメラ底部側の溝の狭い部分に引きこみます。④パトローネを軽く押え、フィルム巻上げレバーを巻上げ、パーフォレーションがスプロケットの歯車と噛み合うのを確認したら、⑤プレッシャープレートを閉じ、裏ぶたをかぶせます。



⑥ 巻戻しクランクを起し、矢印の方向に軽く回して、フィルムのタルミをとり、
⑦ 巻上げレバーを巻上げ、シャッターを切る操作を、フィルム枚数計に1（赤字）の数字が出るまでくり返します。このとき巻戻しクランクの外周が、巻上げにつれて回転していれば、フィルムは正しく送られています。

フィルムを入れる際は、レンズ胴を撮影位置までくり出しておきます。そうしないと、装てん中にリリースボタンを押してもシャッターは切れません。

S = スタート位置



フィルムの巻戻し

撮影が終わったら、再びパトローネにフィルムを巻戻します。

カメラ底部の巻戻しボタンを押しながら、カメラ上部のフィルム巻戻しクランクを起し、矢印の方向に回します。フィルムが完全に巻戻されると急に軽く感じられます。

取出す際、裏ふたと一緒にパトローネが落ちるといけませんので、カメラ上部を下に向けて裏ふたを外すようにします。



フラッシュ撮影

A. アクセサリーシューにコードレスシンクロ接点があり、コードレスタイプのフラッシュガン（東芝CL-1、同BCオートフラッシュ等）が使えます。

B. ストロボやコードを使うフラッシュはカメラ前面のシンクロターミナルにコードを接続して用います。

本機のシンクロ接点はX接点、ストロボはすべてのシャッター速度に同調、F級、M級のバルブは $\frac{1}{15}$ か $\frac{1}{30}$ 秒でご使用ください。



カメラの保存と手入れ

カメラには高温と湿気は禁物、たんすなど密閉した中に長く置くのもよくありません。梅雨時などは皮ケースを外し、缶や箱の中に乾燥剤（シリカゲル）と一緒におくのがよろしいでしょう。

野外撮影の場合、ほこりがつきやすく特に雨の日や海浜では、気付かないでも水分や塩分を受けがちなので、ほっておくとシミやサビを生じます。

帰宅したら、柔かいハケでほこりを払い、布にエーテルまたはアルコールを、ほんの少ししませてふき、更に乾いた布でていねいにふきとります。





ペトリカメラ株式会社

本 社 工 場	東京都足立区梅田 7 - 25 - 12	Tel.887-1111(代)
東京センター	東京都千代田区九段南 2 - 4 - 16	Tel.261-9981(代)
大阪センター	大阪市南区鰻谷西之町 11 - 4	Tel.271-7494(代)
名古屋センター	名古屋市中区栄 3 - 1 1 - 9	Tel.241-0 0 9 7
九州センター	福岡市上川端町 14 - 13	Tel. 29-0 6 5 3
北海道センター	札幌市南 7 条西 10 丁目	Tel. 51-0 6 8 6
仙台センター	仙台市錦丁 13 番地	Tel. 25-1 4 8 9